

■桐野利秋(中村半次郎) 志士、陸軍軍人。〈戊辰戦争〉で活躍、西郷隆盛支えて〈西南戦争〉指揮、“人斬り半次郎”。

きりのとしあき

適塾ホヱン・1838＝ 鹿兒島郊外吉野村で、薩摩下級藩士の中村与右衛門兼秋の第三子に生まれる。

天保改革始・1841＝ 3歳：弟胤國が誕生。

阿部正弘首座1845＝ 7歳：

・・・・・・1847＝ 9歳：

ペリー来航・1853＝15歳：この頃、江戸詰め之父が勤務上の失態を咎められ、徳之島へ流罪となり、

松下村塾・・1856＝18歳：その後を支えた兄与左衛門が病気で急逝して、一家を支える任務がのしかかる。

岩見半兵衛と知り合い、_【精忠組】のメンバーとも付き合うようになる。

桜田門外変・1860＝22歳：

生麦事件・・1862＝24歳： 藩主島津久光の上洛に際し、従士として初めて上洛。京都残留を命じられて、朝彦親王の護衛となり、

8月18日政変 1863＝25歳：結婚。_親王のクーデタ〈八月十八日の政変〉にも臨む。

薩摩藩士密航1865＝27歳：_各藩の志士と交わり、西郷隆盛の知遇を得て、
_ひそかに長州藩の内情を探るなど奔走、薩長間を繋ぎとめる役割も果たし、

明治維新・・1868＝30歳：*〈戊辰戦争〉には多くの首級をあげて勇名を知られ、ついで東海道に先鋒として江戸に入城。会津若松城の受取の任にあたり、

戊辰戦争終・1869＝31歳：_箱館戦争に出陣して、官軍の勝利に導いた後、

初の日刊新聞1870＝32歳：*7年ぶりに故郷に凱旋するとともに、本姓の“桐野”を取り戻して改姓。鹿兒島常備兵大隊長として教練、

廃藩置県・・1871＝33歳：_常備兵大隊を率いて東京に出、御親兵大隊長となった後、兵部省に出仕して陸軍少将となる。この年、北海道を巡視、屯田の制を立てて全道を開拓することを建言するなどしたが、

学問のすすめ1872＝34歳：_熊本鎮台司令長官となり、現地へ赴任。発令された徴兵令を酷評。「時勢論」を脱稿。

明治6年政変 1873＝35歳：*陸軍裁判所所長に転任。征韓論争に敗れて下野した西郷に従って、鹿兒島に帰り、開墾と農耕を始める。

佐賀の乱・・1874＝36歳：

西南戦争・・1877＝39歳：*〈西南戦争〉では、事実上の副総帥として奮戦し、西郷に殉じて戦死した。